

家庭における省エネ・創エネに関するアンケート

全自治会等集計のまとめ

(若葉町 四ツ谷町 新大宮川 シティオ大津石山
湖城が丘・湖南地区 レイカディア大学)

【温暖化全般について】 回答：635 世帯（4 は 235 世帯）

1. 地球温暖化の影響で異常な気候変動が起こっています。身近に感じられることがありますか。
(95.9%) 猛暑や豪雨など異常を感じている
(52.8%) 農作物などへの影響を心配している
(28.7%) びわ湖の環境にも影響を及ぼすのではないかと心配している
(2.2%) 異常気象は一時的な現象だからあまり気にしていない
2. 異常な気候変動を抑えるため（温暖化防止）の国際的な取り決めである「パリ協定」のことをご存知ですか。
(10.1%) よく知っている (65.8%) 少しは知っている (23.5%) あまり知らない
3. 「パリ協定」に基づき日本では家庭から出るCO₂の排出量を2030年に40%（2013年比）削減することを目標にしています。このことについて、
(8.2%) よく知っている (54.5%) 少しは知っている (35.9%) あまり知らない
(0.8%) 関心がない
4. 家庭から出るCO₂を40%減らす目標についてどう思われますか。
(39.1%) 努力すれば実現可能と思う
(20.9%) 努力しても実現できないと思う
(3.8%) 目標実現のために生活が不便になるのは同意できない
(46.4%) 多少の不便を感じても地球の未来を守るべきだ

【照明について】 回答：635 世帯

5. ご自宅の照明についておたずねします。LED化はどれくらい進んでいますか。（近い数値を選ぶ）
0% (6.5%) 10～50% (54.0%) 50%～80% (31.2%) 100% (6.8%)
6. 10%から80%の間の数値に○を付けられた方におたずねします。
(86.6%) さらにLED化を進めたい
(9.3%) 今以上LED化を進める考えはない
7. LED化を進めてこられた方、さらに進めたいと思っておられる方におたずねします。
「LEDにして長持ちするようになり取り替えの手間がかからなくなった」が 55%
8. LED化をあまり進めていない方にその理由をおたずねします。
「器具代が高くつくので経済的ではないから」が多数

【創エネ（再生可能エネルギーづくり）・省エネについて】 回答：635 世帯（10 は 561 世帯）

9. 「パリ協定」を実現するために国が定めている2030年の電源構成は次のとおりです。
石炭火力 26% 天然ガス火力 27% 再生可能エネルギー 22～24% 原子力発電 20～22%
この電源構成についてどう思われますか。
(52.8%) 再生可能エネルギーをもっと増やすべきだと思う
(13.1%) 再生可能エネルギーは課題もあるのでこれくらいが限界だと思う

(45.4%) 原子力発電はリスクが高いので減らしてほしい

その他 (安全性を確保したうえで、原発を増やすべきという意見が少数あります)

10. 太陽光パネルの設置についておたずねします。

設置している (69 世帯で普及率 12.3%)

まだ設置していないが設置したいと思っている (43 世帯で潜在率 7.7%)

設置したいが建物の構造上、設置しにくい (23.9%)

設置する考えはない (48.5%)

11. パネルを設置してどう思われますか。

(73.8%) よかったと思う

買取制度の期間満了について

(26.2%) 期間満了のことを知っている

「よく知らない」「満了後の措置を決めていない」「現段階では分からない」ので

「満了が心配」が 42.9%

12. 次に太陽光発電以外の創エネについておたずねします。ご興味のあるものに○を付けてください。

(○の件数は)

水力発電 145 地熱発電 158 バイオマス発電 148 水素発電 129

13. お風呂と台所の給湯についておたずねします。

(17.6%) エコキュート (電気) を使用している

(6.3%) エネファーム・エコジョーズ (ガス) を使用している

14. エアコン (冷暖房) について、いまの機器をいつから使っていますか

2007年以前から (33.9%) 2008年以降 (66.1%)

15. 冷蔵庫について、いまお使いの冷蔵庫の購入は

2018年以降 (21.4%) 2012～2018年の間 (44.3%)

2012年以前 (34.4%)

16. 蓄電池の設置についておたずねします。

(8 世帯) 蓄電池を設置している

(7 世帯) 太陽光パネルとセットで設置している

(13 世帯) 設置したい

(以下は 161 世帯の回答から)

(19.3%) 設置するのに参考になる情報がほしい (機器や補助金情報等)

(65.8%) 今のところ設置する考えはない

【生ごみについて】 回答 : 235 世帯

17.. ご家庭から出る生ごみは再利用できる資源であると思いますか。

はい (52.3%) いいえ (8.1%) わからない (31.9%)

18. 発生した生ごみの処理についておたずねします。

(94.9%) 自治体の「燃やせるごみ」として収集日に出している

(1.7%) 自分で生ごみ堆肥化等の処理をしている

(以下は 161 世帯の回答から)

19. 地域で生ごみを回収したり、堆肥化するしくみをつくることについて

協力する (65.2%) 関心がない (28.6%)

20. 生ごみ堆肥を農作物の栽培に使用することについて

関心がある（ 64.0% ） 関心はない（ 28.0% ）

【車のエコ化について】回答：635 世帯

21. 車の使用台数は全体で 804 台、1 世帯平均 1.27 台

22. 車種は

ガソリン車（ 77.4% ） ハイブリッド車（ 21.6% ） プラグインハイブリッド車（ 0.7% ）
電気自動車（ 0.4% ） 燃料電池車（ 0% ）

23. いま使用している車の累計走行距離は約（50,970）km 使用年数は約（ 6.12 ）年

24. いま使用している車を選ばれた理由をおたずねします。

（ 10.4% ） 環境を重視する時代の流れにそうため
（ 57.2% ） CO2 の排出を減らし温暖化防止に役立てたいから
（ 69.7% ） 車に乗る機会が少ないのでエコのことを気にするほどでもないから
（ 85.8% ） エコによい車と思うが高額なので気のりしない
その他（ デザインを重視、乗り心地の良さ）

25. カーシェアリング（車の共同利用）が広がりを見せています。カーシェアリングについて、

興味がある（ 27.4% ） 興味はない（ 63.5% ）

大津市において利用しやすいシステムでカーシェアリングが広まってきたら

利用したい（ 22.5% ） 利用するつもりはない（ 55.0% ）

26. 留守などのため宅配便が受け取れず再配達になることがあります。再配達になることは

時々ある（ 67.7% ） あまりない（ 26.5% ）

このアンケート調査は、2019年度環境省二酸化炭素排出抑制対策補助事業として、大津市地球温暖化防止活動推進センターが実施しました。

